

概 要

- 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域において土石流が発生。
- 同日1230、陸上自衛隊第34普通科連隊長（板妻）は、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。
- 同日1252以降、第34普通科連隊を主力とする約200名の隊員を順次派遣、4名を救助。

自衛隊の主な活動

活動
内容

1 人命救助活動

- 第34普通科連隊の初動対処部隊（ファストフォース）30名により、人命救助活動を実施中。
- 第34普通科連隊及び第1戦車大隊（駒門）の増援部隊約135名が、順次現地に到着。
- 第1施設大隊（朝霞）の約20名及び重機4両（掩体掘削機×2、中型ドーザ×1、バケットローダ×1）が現地に向けて前進中。

2 情報収集等

- 第34普通科連隊（板妻）の3名が情報収集等を実施。
- 東部方面航空隊（立川）のUH-1×1（映像伝送機）及び第1ヘリコプター隊（立川）のUH-1×1が離陸待機中。
（明日の天候が回復次第飛行予定）

3 連絡員の派遣

- 静岡県庁に3名、熱海市役所に4名及び東部地域局等に2名の連絡員を派遣。

位置関係図

